SS+

11.01
NO.8
2026



建築と白川設計

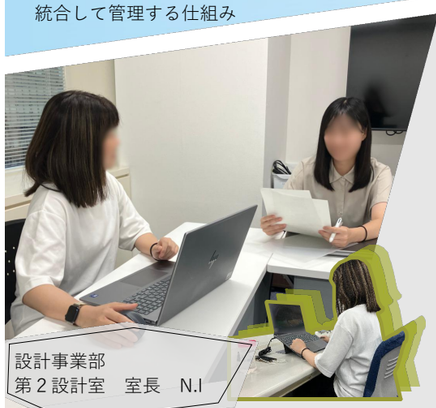
―私たちが描く次の価値―

AI・DX・BIM※などのデジタル技術活用への取り組みや、
働き方、人材育成に関する考え方をご紹介します!

※建物の3Dモデルに各種情報を
統合して管理する仕組み

白川設計を支える室長インタビュー

つながる、支える、挑戦する。



設計事業部
第２設計室　室長　N.I

室長就任から約1年。作図を中心とした業務から、チームをマネジメントする立場となり外部との調整や業務配分など新たな役割に挑戦しています。当初は難しさも感じましたが、今はメンバー一人ひとりの経験や得意分野を把握し適材適所で仕事を任せられるようになりました。

第2設計室の強みは、困ったときに声を掛け合い互いに支え合う点です。今後はAIやBIMなどのデジタル技術を積極的に学び、建築の知識と組み合わせて活用していきたいと考えています。若手社員には経験の有無にとらわれず、さまざまな仕事に挑戦成長につなげてほしいです。

チーム力を引き出す組織へ



ファシリティマネジメント事業部
ファシリティデザイン室　室長　T.O

室長就任後、組織運営の難しさを感じる一方で、メンバーの成長やチームとして成果を上げる喜びを実感しました。また、立場の変化で視野が広がり、多様な意見を取り入れながら方向性を決めていく大切さを学びました。

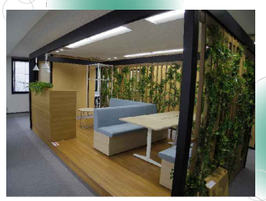
FM事業部の強みは、それぞれの専門性を活かしながら協力して業務に取り組めるチームワークです。日頃から気軽に相談できる雰囲気づくりを大切にし一人ひとりが安心して意見を発信できる環境づくりを心掛けてます。今後はAIやDX、BIMなどの新技術を活用しながら、人材育成と情報共有をさらに充実させ、互いに学び合い成長できる組織を目指していきたいです。

協和総業株式会社 横浜事業所

用途：事務所　テナント入居に伴う内装工事
場所：横浜市港南区
背景：移転に伴い、新たなオフィスづくりを計画
担当：ファシリティマネジメント事業部

BIMを活用した実例②





リフレッシュ空間



クリーンデスク



会議室

人がつながる、温かみのあるオフィス

事業所移転に伴い、これからの働き方を見据えたオフィスづくりを行いました。

お施主様には、計画地においてVR体験を実施し、コンセプトである「温かみのあるオフィス」の空間イメージをご確認いただきました。

図面のみでは把握しにくい空間の広がりや利用イメージに加え、コミュニケーションの活性化やリフレッシュを促す計画内容についても体感していただき、計画の方向性を共有しました。

働く合間のリフレッシュ空間

オフィス中央に小上がりのリフレッシュエリアを配置。休憩やコミュニケーションの場として、人が自然と集まる空間を創出しました。

クリーンデスクの実現

必要な収納量や動線を整理し、収納計画と書類管理の運用を見直し、快適な執務環境を整備しました。

温かみと高級感を兼ね備えた会議室

木目を基調に壁面パネルなどを取り入れた上質な空間を計画。来訪者に好印象を与える会議室としました。



つばさ保育園分園

用途：保育園　新築
場所：横浜市港南区
背景：受入体制の見直しと保育ニーズへの対応
担当：ファシリティマネジメント事業部

BIMを活用した実例①
表紙の3Dモデルが
実際に竣工した様子です！

木のぬくもりと公園の自然に包まれ、園児の成長を育む保育園

敷地に隣接する公園の豊かな緑や四季の移ろいを身近に感じながら、木のぬくもりを活かし、子どもたちがのびのびと過ごせる保育環境を目指しました。

また、シンボルツリーや大きな窓を通して自然とのつながりをより身近で感じられる計画とし、子ども一人ひとりの個性や成長を大切にする保育理念を建築的に支えています。

保護者と保育者にとって安心して利用できる、安全性と見守りやすさを兼ね備えた分園を計画しました。

公園とつながる保育環境

大きな開口部を設け、室内にいながらも自然を感じられる環境としました。

安全で見守りやすい計画

送迎動線や園児の飛び出し防止に配慮した玄関ポーチを設け、保育者と保護者が安心できる施設計画としています。

木のぬくもりを感じられる空間づくり

檸檬のシンボルツリーや自然光を取り込みながら、子どもたちの成長をやさしく見守る保育環境を実現しました。



保育室から
シンボルツリーを見る



人を迎え入れる外観



安心感のある玄関

白川設計での取組

DX・BIM活用で仕事が変わる？！

現在、お客様とのイメージ共有のためにBIMを活用しています。打合せの際には、その場で3Dモデルを動かしながら建物の見え方や空間の広がり、仕上材の色味などを確認していただいています。平面図だけでは伝わりにくい空間イメージも視覚的に共有できるため、より合意形成がしやすくなりました。「こういう建物になるんですね」と驚かれることも多く、BIMの効果を実感しています。

また、AIやデジタルツールも積極的に活用しています。特にタスク管理ツールを利用することで、業務の進捗や連絡事項を整理しやすくなり、情報の見落としや対応漏れの防止につながっています。日々の業務を効率化し、設計に集中できる環境づくりに役立っています。

BIM を様々な業務で活用できるよう、社内標準の作成を進めています。勉強会も継続的に開催し、操作方法や活用事例を共有しながら、全員が少しずつスキルを高めています。将来的にはBIMを活用して設計検討や概算工事費の算出まで行える環境を実現したいと考えています。デジタル技術はあくまで手段であり、目的は良い建築をつくることです。その考えを大切にしながら、これからも新しい技術への挑戦を続けていきたいと思います。



設計事業部
第1設計室　主任　M.H

▼３Dパースを用いて外壁の色決めを行いました！



部会報告

白川設計では部会活動が盛んです！
安全衛生・広報・DXの各分野において、職場環境の向上と会社の発展に向けた取り組みを推進しています。

安全衛生推進部会

従業員の健康増進を目的とした活動を進めています。ヘルスエデュケーションでは、デスクワークに伴う不調改善を目指し、オフィスで手軽にできるストレッチを紹介しました。こうした取組みが評価され、横浜健康経営認証クラスAAAを取得しました。

今後も健康情報の発信を通じて従業員の健康維持と業務パフォーマンス向上に努め、より良い空間設計につなげてまいります。

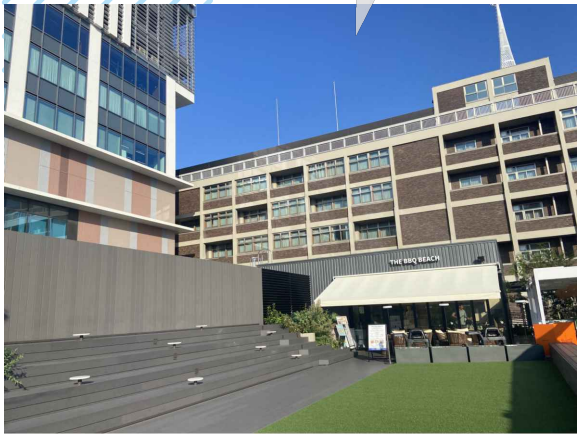
横浜健康経営認証クラスAAA取得しました！
木製の置物は神奈川県の間伐材が
使用されています！

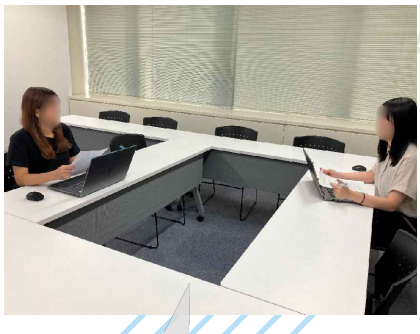




ヘルスエデュケーション
実際に体を動かしながら健康について
意識するいい機会になりました！

横浜散策ではBASE GATE 横浜関内に行きました！
歴史と新しい街並みが共存する横浜の魅力を
感じることができました！





社報インタビューの様子
普段なかなか聞けない思いなど
聞くことができました！

広報推進部会

会社の情報発信活動としてSNSへの投稿や社報の作成を行い、社外への情報発信に取り組んでいます。社報を作成するにあたって、インタビューをしたり、設計の知見を深めるため横浜散策も行いました。今後も様々な情報発信を通じて、会社や業界の魅力を広く発信してまいります。

今年は、広報活動の新たな試みとして、神事協設立50周年記念誌表紙デザインコンペにも参加しました。

DX推進部会

自社が抱える課題を整理し、業務改善や生産性向上につなげる活動を進めています。

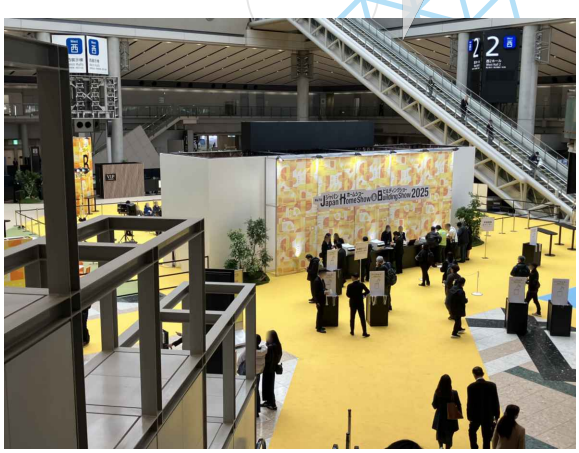
今年度は神奈川県の「リスキリング人材育成事業」を受講し、DX推進に必要な知識や手法について学んでいます。また、DXセミナーにも積極的に参加しています。

今後は、研修で得た知識を社内へ展開しながら、業務の効率化や働きやすい職場環境の実現に向けて、具体的な取り組みを進めていきます。



大塚商会DXセミナー・展示会で、
議事録AIサービスについて勉強しました

東京ビッグサイトで行われた
ジャパンホームショー＆ビルディングショーの様子
建設DXについて学びました！



編集後記　新体制で初めての社報制作となり、多くの皆さまにご協力いただきました。インタビューを通して、それぞれの室長が目指す働き方や今後の方向性に触れることができ、興味深い機会となりました。ぜひご一読いただけますと幸いです！

ファシリティマネジメント事業部　ファシリティデザイン室　K.K　　設計事業部　第2設計室　S.O

発行：株式会社白川設計　　神奈川県横浜市中区相生町6-104　　045-319-4441(代表)　　創業46年　　従業員15名　　部署：設計事業部・ファシリティマネジメント事業部・企画営業部・管理本部

白川設計 SPACE PLANNING ASSOCIATES

表紙パース：つばさ保育園分園　新築工事　2026年竣工